

# 東京都個人タクシー協会 会報

乗って安心個人タクシー



平成25年  
5月号

## タクシードライバー交通安全教室開催 熟練ドライバーとして、 安全運転を再認識

4月15日(月)、世田谷区喜多見にある警視庁交通安全教育センターにて「タクシードライバー交通安全教室」が開催されました。個人タクシー事業者16名が受講し、安全運転のための運転講座とテストコースでの実技講習を通じて交通安全の大切さを学びました。

高齢タクシードライバーが関与する交通事故は、タクシードライバーによる交通事故の25.2%を占め、過去10年間で最も高い数字となりました。ますます高齢化が進む社会のなかで、高齢者の事故は数年来の課題となっています。増加する高齢タクシードライバーの交通事故に歯止めをかけようと、交通安全意識の普及・浸透を図る目的で、春の全国交通安全運動「最終日に実施されました。

開催にあたり、吉田管理官より「一般的な高齢者による事故分析をしてみると、加齢による身体機能の変化がありますが、



講習では反射神経が注意力に大きく左右される実験も行いました



右直事故の再現・検証には受講者全員が真剣に耳を傾けました



指導員を助手席に乗せて行ったテストコースでの安全確認走行

これはしかたのないことです。変化を認識し、ゆとりのあるやさしい運転を心がけてください。そして原点を振り返っていただき、同僚の皆さんや周りの方々へここでの講習内容を伝えていってくださ「い」という挨拶がありました。

教室はまず実習から行われ、テストコースにおける指導員同乗の安全確認走行を行った後、右直の事故・出会い頭の事故を再現して、その原因や要因の説明を受けながらスピードや距離感などを体感しました。講習では「いきいき安全講座」というテーマで、反射神経をきたえ脳の活性化をはかることの大切さを実感するトレーニングと危険予測についてグループで話し合い、その内容を発表し合いました。

この講習を通じて、高齢者としての自覚が深まり、安全運転の大切さを実感することができました。また、同僚の皆さんや周りの方々へ講習内容を伝えていってくださ「い」という挨拶がありました。

### 受講者の声

東個協・野方支部

浅川 忠彦さん

指導員の方が助手席に乗っての安全確認走行は、初心に戻った気持ちで53年前を思い出しました。実習で教わった縦方向の距離感、横方向の距離感というのが、実は目の錯覚によってかなり違うという点はなるほどと思いました。とても勉強になりました。



都営協・城北支部

吉田 侑巧さん

対向

車線の走行車のスピードとこの感覚が走行する物の大きさによって違うということ、頭では分かっても実際に体験してみると「なるほど」と思えることでした。高齢者のためのタクシードライバー交通安全教室というもののイメージとは違って実践的な内容のためになりました。



### 都内個人タクシーの現状 (平成25年4月1日現在)

許可事業者数	15,564名 (前月比-58名)		
(特別区、武三)	15,098名	北多摩181名	南多摩285名)
傘下事業者数	15,272名 (前月比-95名)		
(特別区、武三)	14,808名	北多摩180名	南多摩284名)

第10回 理事会の焦点

問題意識を持ち、ただちに取り組む

開催日時 4月17日(水)

場所 個人タクシー会館

議題 一般社団法人への移行に向けての検討に関する件

理事会に先立ち、木村会長より「ご承知の通り、一般社団法人移行問題で合意ができていない状況ですが、何としても合意を取り付けて移行をするということが最優先課題です。皆で汗をかいて乗り越えていかねばなりません。これから東京社団の理事会が事業者や代議員の方々の理解を得て、どれだけ引っ張っていけるのか、今一度しっかりと問題意識を持ち、取り組んでいかなければならないと思っています」という言葉がありました。

その後、議題に対する忌憚のない意見交換が行われ、理事会としてベストを尽くすため、7月の総会までの間4回の理事会を開催し、さらに話し合うことを全員一致で決定しました。



接客マナー・コンテスト本選会

先回りのおもてなしは、目配り・気配り・心配り

3月29日(金)、(社)全国個人タクシー協会関東支部において、予選会・準本選会を勝ち抜いた各都県協会の代表16名による本選会が行われました。本選会ではユニバーサルドライバールの促進を視野に「杖を持つ、70歳前後の乗客」に対するロールプレイング実技が行われ、審査により最優秀賞・優秀賞・特別賞等が決定しました。

ノミネート者たちによるコンテストの後、プロからのアドバイスとして審査員のインスタラクター・山脇あき子さんから以下の講評がありました。「本日は皆さまお疲れ様でした。今回も大変レベルが高く、入賞された方もさ



れなかった方も僅差だったと思います。今までマナーの研修を担当し、予選会から見せていただきましたが、大変うれしく思ったことが3点ありました。まずは、笑顔で挨拶すること。緊張の中では難しいことではありますが、皆さん頑張っていていらっやいました。2つめ、身だしなみをきちんとすること。3つめは言葉づかいです。クッションの言葉である「申し訳ございませんが、恐れ入りますが、お手数ですが」は、おもてなしの気持ちとして入れてほしいとお伝えしてきましたが、今回しっかりと実践されていて良かったと思います。

今後気を付けていただきたいのは、言われたことをそのままするだけでなく先回りして気づくことです。例えば、車内の温度やシートベルトのこと。接客は目配り、気配り、心配り…これが先手のサービスだとずっとお伝えしています。が、今後の課題として取り組んでいただきたい、素敵なドライバーさんになっていただけたらと思います」

入賞者の喜びの声

優秀賞

東個協・野方支部

長谷川 洋さん

緊張で笑顔が出にくいという自覚があるので、お客様の顔をしっかりと見ることを念頭に挑みましたが、今回は笑顔もきちんと出せるよう、宿題にしたいと思います。今後も年配の方を含めてハンディキャップのある方が心地よく乗ることができるよう、自分なりに適切な対応方法を考え、ドライバーとしての質を高めていきたいと思っています。



特別賞

都営協・交友支部

野崎 正彦さん

私自身が夜からの仕事しかしてないこともあって、昼間のお客様という設定は苦勞しました。足を元を気づかう言葉をはじめとした気づかい等、分かっているにもかかわらず口に出ないということを感じさせられました。そんな中、本選会に出られた若い方たちが頑張っている姿を見て、個人タクシーも安泰だと自分のことのようにうれしく思いました。



入賞者一覧

最優秀賞	清水雅志さん	千葉県協組
優秀賞	長谷川洋さん	東個協 野方支部
	木嶋文自男さん	浜協組
特別賞	久保 肇さん	神奈川協組
	野崎正彦さん	都営協 交友支部

### 春の全国交通安全運動 実施期間中における 交通事故防止活動

#### シートベルト着用状況の調査・指導を実施

春の全国交通安全運動期間中の4月9日(火)、東京駅と新宿駅において、シートベルト着用状況の調査指導並びに乗務員・事業者に対する交通事故防止を呼びかける活動が行われました。この活動は東京運輸支局・警視庁・東タク協・ハイタク交通共済・都個協合同で行われたもので、協会からは安全対策委員会担当の相澤副会長をはじめ5名が参加しました。正しいシートベルトの着用方法を訴えるチラシやノベルティグッズ(絆創膏)を配るとともに、クリップ留めをするドライバーに対しては、正しい着用を指導しました。



乗務員・事業者に交通事故防止を呼び掛けました

参加した岩崎首席運輸企画専門官からは「クリップ等の使用は前回より減少しましたが、若干波があります。せっかく良いシートベルトがあるのにクリップ留めなどで弊をしまえれば効果がなくなります。本日は皆様が指導されていることが普段現場で守られているかを見ていただく

いたわけですが、個人タクシーはシートベルトを着用し、また服装もしっかりとできてよかったですと思います」との話がありました。

### 街頭指導報告

不適正営業の多発する地区において毎月街頭指導を実施しております。報告書の中から一部を紹介します。

#### 東京駅八重洲北口地区

日時：平成25年3月28日(木)  
午後9時～翌午前0時  
指導班：第1指導班(A)

八重洲北口交番に挨拶を済ませ、各指導員が任務分担及び手順を確認し摘発に向かった。当日は八重洲北口地下駐車場出口付近にて工事が行われており、車両が止めづらく違反車両は少なく感じたが、それでも午後11時までには8件の違反車両を撮影した。

午後11時を過ぎ、「摘発」から「排除」に切り替えたが、排除中にも関わらず3件の違反車両を現認。撮影を行うとともに違反車両に対し移動するよう指導を行った。

#### 銀座・新橋地区

日時：平成25年4月9日(火)  
午後10時～翌午前1時  
指導班：第2指導班(B)

宮田副委員長の指示のもと、今日は日比谷交差点及び数寄屋橋周辺の二重駐車解消を重点目標として摘発に向かった。

日比谷交差点は夜間工事のため違反車両はなく、数寄屋橋周辺においても、二重駐車は見受けられなかった。指導班は場所を移動し、難波橋にて個人タクシー2台の待機車両を現認、我々に気付くとクラクションを鳴らし、他の車両に知らせながら移動していった。しばらくこの場所の様子を見てみると、先程の個人タクシーが現れ、ビデオカメラを回すと慌てて立ち去った。難波橋の常習車両の対策としては、彼らに落ち着いて駐車をさせない状態に追い込んでいけば、効果があると思えました。

継続した街頭指導により、違反車両は非常に少なくなり、指導の効果がはつきりと表れていると実感した。

#### ■不適正営業集計表 (街頭営業適正化指導規程)

発生月	警告事案	講習事案	処分事案	合計
平成25年2月	27	4	5	36

#### ■処分事案対処報告書 (街頭営業適正化指導規程)

平成25年3月報告分

会員	団体名	氏名	発生日	発生場所	対象行為	加重	処分内容
東個協	足立第二支部	T・K	平成24年12月18日	港区新橋1-3	乗車行為禁止無視	加重	左記他3件の事案により総代会に除名提案(但し、3月末に自由脱退済)
東個協	練馬支部	I・K	平成24年11月30日	中央区銀座8-2先(銀座コリドー通り)	乗禁地区営業	加重	表示灯使用停止 精算停止 無線営業停止 講習2日
東個協	文京第二支部	F・M	平成24年11月27日	東京駅八重洲北口周辺	交通阻害行為	加重	脱退勧告
東個協	杉並第二支部	M・A	平成24年7月31日	港区新橋1-11	乗り場無視		表示灯使用停止 精算停止
東個協	新東京支部	T・H	平成24年12月7日	中央区銀座6-6(車両進入禁止地区内)	乗り場無視	加重	脱退勧告
都営協	石神井支部	I・T	平成24年11月29日	新橋駅東口周辺	交通阻害行為		表示灯使用停止 換金停止

※処分事案は東個協・都営協に処分を要請し、平成25年3月中に処分内容の報告があったもの  
※加重とは、処分事案としての処理が2回目以降となる場合です

### 計報

※3月

氏名	所属団体	享年	病名
斉藤 恵	(東個協)足立第二	61	心不全
松村 幸男	(東個協)墨東	69	食道癌
浪間 勇	(東個協)豊島	66	心筋梗塞
小森 邦彰	(都営協)石神井	73	不明
宇田川 清	(都営協)さくら	61	胆管癌
宮下 泰一	(都営協)江戸川	73	胆管癌
大津 進一	(都営協)東優	58	虚血性心疾患
石森 武吉	(全個人)	64	不明

ご冥福をお祈り申し上げます

地理モニター報告⑱

移 転

名称	新所在地	旧所在地	移転日
本所警察署	墨田区横川4-8-9	墨田区両国4-29-5	平成25年3月

道路・橋等

名称	概要	変更日
蒲田立体 (南蒲田交差点)	国道15号が環状8号線の下を通過する、南蒲田交差点立体部の開通。今回の開通により、南蒲田交差点の慢性的な渋滞の緩和や、交通事故の削減が見込まれる。 2013地図 P198-A-3	平成24年12月

感謝の手紙

利用者感謝の日キャンペーン当選者の方からお礼のお手紙が届きました

この度は個人タクシー協会様のキャンペーンにて旅行券が当たり、3月に青森へと主人と行ってまいりました。とても素晴らしいホテルに泊まらせていただき、楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

私たちは、頻りにタクシーを利用していますが、「今後も個人タクシーを優先して乗ろうね」と主人と話しています。まずは、お礼を申し上げたくお便りをさせていただきます。

「よかった」と感じていただけたことが個人タクシーの今後へとつながります。一人ひとりの心構えで個人タクシーを利用していただくお客様をこれからも増やしていきたいようにしましょう。



東京

ぐるり

り

支部紹介

第50回

東京都個人タクシー協同組合 文京第二支部 (所在地: 文京区本駒込)

歴史ある支部を支える日々の努力

今年の2月に創立50周年という記念すべき節目を迎えた文京第二支部。初代支部長だった若月勇氏は、個人タクシー業界全体を先導した人物として「ミスター個人タクシー」と呼ばれた伝説的人物でもあります。支部の取り組みとして、昭和63年組合員の減少問題の解決のため組織委員会を発足。「支部組合員数200名達成」を目標に勉強会を続け、平成11年には見事目標を達成し、それ以後も減少傾向にある組合員数を確保するための大きな支えとなっています。「大切にしているのは、今必要なことにしっかりと対応することです。さらに支部の三原則でもある誠意・絆・融和の精神を、地域貢献に生かされればと考えています」と関支部長。地道な努力と将来を見ずえた活動が、輝かしい歴史を紡いでいく原動力となっているようです。



左から事務員のみなさん、三上経理部長、関支部長、樹谷副支部長



創立50周年の記念式典ならびに祝賀会は、池袋メトロポリタンホテルにて盛大に行われた。



組織委員会による勉強会風景。今では組合員の約9割が勉強会出身者だそう。



意見箱に寄せられる要望には素早く対応。内容は親睦旅行の行先から業務関係などさまざま。

なんでもトピックス

地域のおすすめスポットやクラブ活動、名物ドライバーなどなんでもご紹介

女性ドライバーは台湾出身

矢納幼青さんは、台湾出身。慣れない日本の暮らしにも負けず、雇ってくれる法人タクシーを捜し歩きタクシー運転手になると、さらに個人タクシーを目指したという、かなりの努力家です。

